



Agresh

1
月号
No.154

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源“あぐれっしゅ”

Agresh

1
月号
No.154



特集 新春座談会「食と農の未来図」

お年玉 ピック プレゼント付き 頭の体操 クロスワードパズル

出題/ニコリ

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

先月号答え ABCD
フリソテ

応募総数: 84通



ヨコの力ギ

1. ウィンタースポーツの代表格
2. 旧国名の1つ。
現在の三重県の大部分
3. お吸い物などを入れる器
4. 丸は外、幅は――
5. 掃除道具の1つ。
魔女がまたがれば飛べるかも?
6. 車のフロントガラスに付くと
ギラギラして厄介です
7. 旅先で読めることもあります
8. もむと温かくなるタイプもあります
9. 遅い時間まで寝ずにいること
10. 仁徳天皇陵もこの1つ
11. 水分補給に役立つ――飲料は、
電解質をかえてあります
12. 動き者だといわれる昆蟲
13. 天ぷらを天――に漬けて食べた

タテの力ギ

1. 2月の誕生石・アメシストは
紫色の――です
2. 刻みタバコを詰めて吸う道具
3. しが大ならMは
4. こうなった――を知りたいなあ
5. 暖炉にくべます
6. 3度の食事以外に食べるもの
7. パレンタインデーに
実らせん人セイム
8. 団扇や骨牌の指し手の記録
9. 宮古店の――ガイドで
日当ての売り場を探した
10. 昆布と――節でだしを取った
11. 例年2月4日ごろ。暦の上では
この日から春です

応募方法

下記必要事項をご記入のうえ、
郵便またはFAX、ホームページからご応募ください

1. クイズの答え
2. 郵便番号・住所・電話番号
3. お名前(フリガナ)・年齢・性別
4. ご意見・ご感想をお寄せください

応募締切: 2023.1月31日(火)(当日消印有効)

[郵便ハガキ]
〒034-0081
青森県十和田市西十三番町4-28
JA十和田おいらせ 企画広報課[FAX]
0176-24-1829
おかけ間違いにご注意ください【ホームページ】あぐれっしゅリンクページ *頂いた個人情報は、このたびの
用途以外には一切使用しません。
<https://www.jatowada-o.or.jp/>

ご応募いただいた方のなかから、抽選で15名様にプレゼント!

特賞

- 2名様
みんな大好き!
すき焼き肉セット
(10,000円相当)



1等

- 2名様
これであなたも
お料理上手!
調味料セット



2等

- 3名様
希望の森
(100ml×6本)



3等

- 3名様
Aコープ商品
「なべ焼きうどん」
(8食入)



Wチャンス 5名様

QUOカード(1,000円分)



当選者発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※写真はイメージです

持続可能な地域農業の構築へ

代表理事組合長 畠山 一男

明けましておめでとうございます。

皆さんにおかれましては、穏やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃よりJA事業に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3年目となる新型コロナウイルス感染症の収束が見えないなか、2月に始まったロシアによるウクライナ侵略の影響で、燃料や化学肥料原料の国際価格が急騰し、農業経営に大きな影響を及ぼしました。国は対策として、肥料価格高騰対策事業を打ち出し、当JAは事業申請の事務支援を担っております。

野菜販売については、春先の天候に恵まれ、野菜の好販売が期待されたところでしたが、8月上旬からの長雨・豪雨により、管内主要野菜のナガイモ、ゴボウ、ダイコン、ニンジン、長ネギ等のほ場で、浸水や土砂流入などが発生し、被害見込み面積が約710haと未だかつてない甚大な被害を受けました。当JAとしては対策本部を立ち上げ、県選出国会議員および関係行政に対して被災状況を迅速に報告し、独自支援として、被害が深刻な加工用ナガイモの入庫に対して、初めて仮渡金を設定するなど、今後も被災農家のみなさんの再生産を全面的にサポートしていく所存であります。

令和4年産米の作況指数は「101」の平年並みで、概算金は「まっしぐら」が9,300円と3年ぶりに引き上げられたものの、生産費を下回る水準となりました。当JAでは、生産者の生産意欲減退を避けるべく、1千万円超の令和4年産用種子助成を講じました。令和4年産米にも追加払いができるよう販売努力をしてまいります。

畜産については、コロナ禍による牛肉価格の下落に加え、飼料価格の高騰で経営の厳しさが増すなか、10月に開催された第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に、当管内から2頭が出場しました。全国から選出された和牛が集まるなか、あおもり和牛の魅力を堂々と披露し、初出場にして好成績を記録したことで県内の畜産農家を大いに勇気づけました。

また、2月に開催された第29回JA青森県大会のテーマ「10年後も元気な農業と地域をめざして、さらなる深化を」を実践するために、JA組織は自らの意思による自己改革が求められています。持続可能な組織・経営基盤の強化、販売力の強化、生産コスト低

減や営農・経営支援策など、具体的な計画・提案がその取り組みであり、当JAとしては、令和5年度からスタートする第5次中期計画の中で各位に示していくこととしています。自己改革の着実な実践と進捗管理・自己改革を伝える一層の取り組みを急務と認識し、取り組み状況の「見える化」を図る次第です。

あわせて、持続可能な食料生産、農業振興、地域社会づくりの実現に向けて、協同組合精神のもと農業協同組合運動の啓蒙と全世界で取り組む「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成を目指してまいります。

新しい年においても引き続き、農業者所得の向上を最優先取り組み事項として組合員各位の負託に応え、地域農業をけん引していくため、役職員一丸となって取り組んでいく所存であります。

結びに、農家組合員の皆さまや関係者各位の新年が、健やかで実り多き年となりますよう心よりご祈念申し上げるとともに、今後もJA事業へのご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



黒毛和牛と日本短角牛の繁殖・肥育の一環経営をする漆畠善次郎さんは、政府が発令する2022年秋の褒章で「黄綬褒章」を受章されました。平成7年5月から十和田市議会議員、平成17年1月からは十和田市議会議員を約4期16年勤め、地域産業の推進に尽力したほか、夢であった生産元直売店「焼肉牛楽館」を立ち上げ、地産地消を促して地元畜産業をけん引してきました。

地元産にこだわり、ニンニクや津軽海峡の塩などの飼料を与えるながら、肉質改善を行い、農林水産大臣賞を2度も受賞。「夢と計画性があれば必ずチャンスは訪れる」とオイルショックにはじまり、牛の病気など幾多の試練を乗り越えてきました。



黄綬褒章 (おうじゅほうしょう)

農業、商業、工業の業務に精励し、他の模範となるような技術や事業を有する方に贈られる。

現在も、コロナ禍による枝肉価格の下落や飼料の高騰などかつてない苦境に直面する中、「今は耐える時期。これまでの経験を踏まえて若い人たちが経営を続けていくようサポートしていきたい」と力強く話しています。

漆畠さんのご自宅で11月9日に行われた褒賞の伝達式には、家族で出席し、青森県農林水産部の村井孝生畜産課長から賞状と勲章が手渡されました。漆畠さんは「身に余る立派な章まだ実感が湧かない。家族や先輩、仲間に支えられていていたものだと確信している。「仲間は財産」の思いを持ち続け、今後も前進していく」と笑顔を見せていました。

表紙のはなし

話題	表紙のはなし (十和田湖商店内 漆畠善次郎さん)	目次——睦月
御挨拶	年頭あいさつ	特集 新春座談会 【食と農の未来図】
ニコース Photo News	Pick up!イキイキ活動	活動紹介
料理	読者の要望に応えます！	～野菜が主役！ あつあつ鍋で温まろう～
お知らせ	情報掲示板	お知らせ かだあれ情報
紹介	干支のはなし	楽しむクロスワードパズル
20	19	18
16	14	13
10	4	3
2		

Agresh 1 月号 No. 154

公式ホームページ





令和2年 代表理事専務に
就任

代表理事専務

三澤康庄

加入してから日が経つておらず、まだ活動はできてないのでよくわかりません。女性部の存在を最近知て、どのように活動しているのか興味があって加入しました。今後できるだけ活動に参加して理解を深めていきたいです。

畜産後継者の会は、会員数が20人弱。28歳から45歳と年齢層も幅広く、繁殖や肥育農家がメインのグループです。以前は市場に行つて、自分たちが生ませた牛の枝肉の質や価格などを見る上で向上心につなげていきました。現在、視察研修などではなく、座学研修のみで何か物足りなさを感じているところです。しかし、人が集まるところでの会話から得られるものはかなり大きいと感じています。『○』のつながりが一番大切だなと思います。



組織と地域の
埋蔵資源の活用

・・・・・
鶴田さん

伝承料理を子ども達に教えて、後世につなげていきたいと思っていました。以前も料理教室などはしていましたが、出来なくなつて3年目。感染対策をしながら少しづつ再開できればうれしいです。研修などを活発にしながら、若い人が加入しやすい状態・雰囲気づくりをしていきたいです。



●土頸さん

理想像は各支部でやつてある、田植えから稻刈り、むちつきの活動そのもので、食を学ぶ一番の機会だと思います。課題として、昔ながらの手植えは時間がかかるし、稻刈りは鎌が危ない。脱穀も手が挟まれば怖いなど教え方の難しさを感じています。でも、おいしそうにお餅を食べている子ども達の顔を見ると、継続していきたいと思います。

は、放つておけません。せつかく広域合併したのだから、地域にあつた活動をしていく必要があると思います。半面、あまり広くしきりると、個人の必要性が薄れ、組織を離れていく方も出てくる可能性があります。地域には若い人が必要不可欠です。JAも支援していくので相談しながら時代に合ったやり方で進めていきましょう。



「食と農の未来図」

今回の新春座談会は、JA協力組織に加入する生産者の皆さんをお招きし、活動の現状や思い、地域との理想的なつながりについて語ってもらいました。

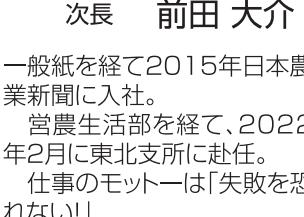


令和2年 組合長に就任

● 組合長 日頃から組織活動に尽力していただき、心から感謝いたします。今は「食」と「農」という大きなテーマとなりますが、皆さんのがんばりを語つてもいいし、A事業へ反映させるとともに、今後の組織活動に生かしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

● 市川さん 組織活動の現状と思い

女性部上北支部は女性部の他に、食や農に興味のある若い世代の女性で構成するフレッシュユミズがあります。部員が少なくなり手続きが難しくなってきたことから、来年度からは一つの女性部として先輩方と一緒に活動していくことになりました。活動面では、昨年3年ぶりに地域の文化祭で串もち販売をしました。作業が間に合わないほど大盛況で、地域と女性部とのつながりを感じました。交流をしないと情報も入ってきませんし、対人の交流の大切さを感じます。



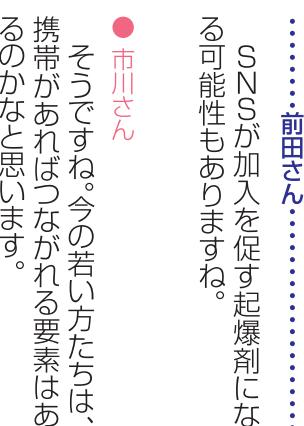
【司会】
(株)日本農業新聞 東北支所
次長 前田 大介

一般紙を経て2015年日本農業新聞に入社。
営農生活部を経て、2022年2月に東北支所に赴任。
仕事のモットーは「失敗を恐れない!」

組織活動の現状と思

若い人が減ってきているのは考えていいかなければならない問題ですね。しかし、地域活動を基本としつつ、女性部として一つになることで、今までになかった活動の変化もあるかもしないですね。

青年部七戸支部では、毎年継続している地元小学生たちとの田植えや稻刈りを食農教育の一環としてやっています。体験を通して、普段食べているお米はどのように作られて、お米を使った食べ物はどんなにおいしいと、農業への理解や食べ物を大切にする意識を付けてもらっています。体験後、学校からもらった感謝の手紙で、「お米を大事に食べないと…」とか給食の残り物を見て「もったいない。食品口スだ」という言葉が子供たちから出ていると知り驚きました。自分たちの活動は意義あるものだと実感しました。



前田さん……
SNSが加入を促す起爆剤になる可能性もありますね。

代表理事組合長
皇山一男

四

二四

● 増山さん

土嶺さんと同じように、農業体験が一番の理想像です。そこに親御さんや地域の方々も加わることで、子ども達はより意欲的に取り組むのかなと思っています。参加して、食を見つめ直し、農業の理解も一層深まるきっかけになると感じています。そこから地産地消にも目を向けてもらえる流れに期待します。部員の減少は青年部も同じで、手助けや教えが欲しいです。

増山さんは以前、東京でお仕事をされていたのですが、地域や農業から離れたことでも思っています。部員の減少は青年部も同じで、手助けや教えが欲しいです。

● 増山さん

子ども達は率直に物事を感じります。メリットだけではなくデメリットも言葉を選びながら伝え、農と食のすばらしさを伝えていきたいです。



● 中澤さん

食は農業に関わらない方からするとスーパーにあるのが当たり前で、畑で野菜が生長しているところや牛が生きているのが想像しづらいのかなと思います。昨年10月に全国和牛能力共進会鹿児島大会(全共)出品牛のサポートをしに行きました。全国の牛を直接見てきたことで、管理の仕方やレベルの差など聞くだけではわからなかつたことを目の当たりにして圧倒されました。同じように、実際に見て触れて食というものを感じてほしいです。畜産業は特に”3K(汚い、臭い、きつい)”のイメージが付きやすいので、払拭できるかなと思っています。

全共ではどのようないふに差を感じましたか。



増山 直幸さん
JA青年部七戸支部長を務める

経営規模
水稻3.5ha、ナガイモ2.5ha、ニンニク1ha他

地元小学生に農業の楽しさや喜びを五感で感じてほしいと、農業体験に積極的に参加。新たな活動の企画にも前向き。

● 中澤さん

シャンパーは人用よりも高価で良いものを蹄(ひづめ)にマーキュアを塗る牛もいますよね。農家だけでは難しく、他県は倍以上時間かけて仕上げていい身だしなみも素晴らしいです。



● 中澤さん

調教で1回声を掛けで3分以上ピタッと止まったままの状況を牛に覚えさせないといけません。一大会に向けて、県内の種牛を使っています。地域や組織を引っ張ついていくよう、今後も意見交換をしていきます。

濱田 裕子さん
JA女性部 むつ支部所属

● 専務

昨年は鹿児島会場で、トラックでの長距離移動となりました。牛はストレスで30キロほど痩せてしまって、会場についてからコンディションを取り戻すハンデがある程度あります。次回は北海道会場と距离が近くなりますので、中沢さんと一緒に協力していきたいです。

”3K”払拭の提案ですが、漁師カードのような、JA十和田おいでんせ版を作ると印象が変わるので、”3K”を逆手に思っています。チャレンジしてみても良いと思います。

● 前田さん

子どもたちに農業や管内の良さを教えて伝道師になれそうですね。

前向きに考えてみたいと思いまます。

● 中澤さん

酒米から日本酒造りをしてみんなで飲みたい

土嶺 要さん

JJA青年部長を務める。
三本木支部に所属

経営規模
ネギ1ha、ニンニク1ha、種子用米3.5ha、飼料用米1ha

規格外ネギを使用して「NEGIのかなめドレッシング」などを商品化。
「かだあ～れ」などで好評発売中。

● 濱田さん

組織活動がどのような活動をしているのか把握できていないので、理想像を考えるのは難しいです。私は地産地消を推進していくくまで、女性部でも同様に自分が熱意をもって参加できる取り組みがあればいいなと思います。小さい風を吹かせてほしいです。

● 組合長

食と農はとても広く深いです。昨年の青年大会では、青年の主張と手作り看板でJAは最優秀賞を受賞しています。仕事を終えてから練習発表や看板制作は大変だとは思いますが、そこで仲間との経験が生きてくるかもしれませんね。地域とマッチしながら新しい風を吹かせてほしいです。

注目する活動

● 専務

現在の農業情勢は暗く、肥料や燃油、飼料の高騰と深刻な問題ばかりです。そういう中で、国産品を地域の人に消費してもらう国消は学び、交流を図りながら自分の経営や活動に生かしていくほしです。目的を持つことで地域が発展していくのだろうと思いまます。地域や組織を引っ張ついていくよう、今後も意見交換をしていきましょう。

それぞの組織、コロナ禍で思つような活動ができるいないようですが、JAも後押ししますので、先進地の視察などから良いものは学び、交流を図りながら自分の経営や活動に生かしていくほしです。JAの命食料を守り、そして農家の安全でおいしい農畜産物を食べてもらう活動をしていきたいです。今までの活動+SNSを活用した情報共有で、対外的に発信していく活動を、みんなでやっていきましょう。

地域内外に管内の魅力を発信したい

● 専務

昨年は鹿児島会場で、トラックでの長距離移動となりました。牛はストレスで30キロほど痩せてしまって、会場についてからコンディションを取り戻すハンデがある程度あります。次回は北海道会場と距離が近くなりますので、中沢さんと一緒に協力していきたいです。

● 前田さん

子どもたちに農業や管内の良さを教えて伝道師になれそうですね。

● 濱田さん

経営規模
夏秋イチゴ100坪ハウス(約3.3a×16棟)

女性部活動に興味を持ち、昨年加入。下北半島の若手生産者が主催で産直販売する「下北マルシェ」にも所属し、地元の農産物や加工品をPRしている。

● 組合長

組織活動がどのような活動をしているのか把握できていないので、理想像を考えるのは難しいです。私は地産地消を推進していくくまで、女性部でも同様に自分が熱意をもって参加できる取り組みがあればいいなと思います。小さい風を吹かせてほしいです。

● 専務

昨年は鹿児島会場で、トラックでの長距離移動となりました。牛はストレスで30キロほど痩せてしまって、会場についてからコンディションを取り戻すハンデがある程度あります。次回は北海道会場と距離が近くなりますので、中沢さんと一緒に協力していきたいです。

● 前田さん

子どもたちに農業や管内の良さを教えて伝道師になれそうですね。

● 濱田さん

経営規模
夏秋イチゴ100坪ハウス(約3.3a×16棟)

女性部活動に興味を持ち、昨年加入。下北半島の若手生産者が主催で産直販売する「下北マルシェ」にも所属し、地元の農産物や加工品をPRしている。

● 組合長

組織活動がどのような活動をしているのか把握できていないので、理想像を考えるのは難しいです。私は地産地消を推進していくくまで、女性部でも同様に自分が熱意をもって参加できる取り組みがあればいいなと思います。小さい風を吹かせてほしいです。

● 専務

昨年は鹿児島会場で、トラックでの長距離移動となりました。牛はストレスで30キロほど痩せてしまって、会場についてからコンディションを取り戻すハンデがある程度あります。次回は北海道会場と距離が近くなりますので、中沢さんと一緒に協力していきたいです。

● 前田さん

子どもたちに農業や管内の良さを教えて伝道師になれそうですね。

● 濱田さん

経営規模
夏秋イチゴ100坪ハウス(約3.3a×16棟)

女性部活動に興味を持ち、昨年加入。下北半島の若手生産者が主催で産直販売する「下北マルシェ」にも所属し、地元の農産物や加工品をPRしている。

● 組合長

組織活動がどのような活動をしているのか把握できていないので、理想像を考えるのは難しいです。私は地産地消を推進していくくまで、女性部でも同様に自分が熱意をもって参加できる取り組みがあればいいなと思います。小さい風を吹かせてほしいです。

● 専務

昨年は鹿児島会場で、トラックでの長距離移動となりました。牛はストレスで30キロほど痩せてしまって、会場についてからコンディションを取り戻すハンデがある程度あります。次回は北海道会場と距離が近くなりますので、中沢さんと一緒に協力していきたいです。

● 前田さん

子どもたちに農業や管内の良さを教えて伝道師になれそうですね。

● 濱田さん

経営規模
夏秋イチゴ100坪ハウス(約3.3a×16棟)

女性部活動に興味を持ち、昨年加入。下北半島の若手生産者が主催で産直販売する「下北マルシェ」にも所属し、地元の農産物や加工品をPRしている。

● 組合長

組織活動がどのような活動をしているのか把握できていないので、理想像を考えるのは難しいです。私は地産地消を推進していくくまで、女性部でも同様に自分が熱意をもって参加できる取り組みがあればいいなと思います。小さい風を吹かせてほしいです。

● 専務

昨年は鹿児島会場で、トラックでの長距離移動となりました。牛はストレスで30キロほど痩せてしまって、会場についてからコンディションを取り戻すハンデがある程度あります。次回は北海道会場と距離が近くなりますので、中沢さんと一緒に協力していきたいです。

● 前田さん

子どもたちに農業や管内の良さを教えて伝道師になれそうですね。

● 濱田さん

経営規模
夏秋イチゴ100坪ハウス(約3.3a×16棟)

女性部活動に興味を持ち、昨年加入。下北半島の若手生産者が主催で産直販売する「下北マルシェ」にも所属し、地元の農産物や加工品をPRしている。

● 組合長

組織活動がどのような活動をしているのか把握できていないので、理想像を考えるのは難しいです。私は地産地消を推進していくくまで、女性部でも同様に自分が熱意をもって参加できる取り組みがあればいいなと思います。小さい風を吹かせてほしいです。

● 専務

昨年は鹿児島会場で、トラックでの長距離移動となりました。牛はストレスで30キロほど痩せてしまって、会場についてからコンディションを取り戻すハンデがある程度あります。次回は北海道会場と距離が近くなりますので、中沢さんと一緒に協力していきたいです。

● 前田さん

子どもたちに農業や管内の良さを教えて伝道師になれそうですね。

● 濱田さん

経営規模
夏秋イチゴ100坪ハウス(約3.3a×16棟)

女性部活動に興味を持ち、昨年加入。下北半島の若手生産者が主催で産直販売する「下北マルシェ」にも所属し、地元の農産物や加工品をPRしている。

● 組合長

組織活動がどのような活動をしているのか把握できていないので、理想像を考えるのは難しいです。私は地産地消を推進していくくまで、女性部でも同様に自分が熱意をもって参加できる取り組みがあればいいなと思います。小さい風を吹かせてほしいです。

● 専務

昨年は鹿児島会場で、トラックでの長距離移動となりました。牛はストレスで30キロほど痩せてしまって、会場についてからコンディションを取り戻すハンデがある程度あります。次回は北海道会場と距離が近くなりますので、中沢さんと一緒に協力していきたいです。

● 前田さん

子どもたちに農業や管内の良さを教えて伝道師になれそうですね。

● 濱田さん

経営規模
夏秋イチゴ100坪ハウス(約3.3a×16棟)

女性部活動に興味を持ち、昨年加入。下北半島の若手生産者が主催で産直販売する「下北マルシェ」にも所属し、地元の農産物や加工品をPRしている。

● 組合長

組織活動がどのような活動をしているのか把握できていないので、理想像を考えるのは難しいです。私は地産地消を推進していくくまで、女性部でも同様に自分が熱意をもって参加できる取り組みがあればいいなと思います。小さい風を吹かせてほしいです。

● 専務

昨年は鹿児島会場で、トラックでの長距離移動となりました。牛はストレスで30キロほど痩せてしまって、会場についてからコンディションを取り戻すハンデがある程度あります。次回は北海道会場と距離が近くなりますので、中沢さんと一緒に協力していきたいです。

● 前田さん

子どもたちに農業や管内の良さを教えて伝道師になれそうですね。

● 濱田さん

経営規模
夏秋イチゴ100坪ハウス(約3.3a×16棟)

女性部活動に興味を持ち、昨年加入。下北半島の若手生産者が主催で産直販売する「下北マルシェ」にも所属し、地元の農産物や加工品をPRしている。

● 組合長

組織活動がどのような活動をしているのか把握できていないので、理想像を考えるのは難しいです。私は地産地消を推進していくくまで、女性部でも同様に自分が熱意をもって参加できる取り組みがあればいいなと思います。小さい風を吹かせてほしいです。

● 専務

昨年は鹿児島会場で、トラックでの長距離移動となりました。牛はストレスで30キロほど痩せてしまって、会場についてからコンディションを取り戻すハンデがある程度あります。次回は北海道会場と距離が近くなりますので、中沢さんと一緒に協力していきたいです。

● 前田さん

子どもたちに農業や管内の良さを教えて伝道師になれそうですね。

● 濱田さん

経営規模
夏秋イチゴ100坪ハウス(約3.3a×16棟)

女性部活動に興味を持ち、昨年加入。下北半島の若手生産者が主催で産直販売する「下北マルシェ」にも所属し、地元の農産物や加工

